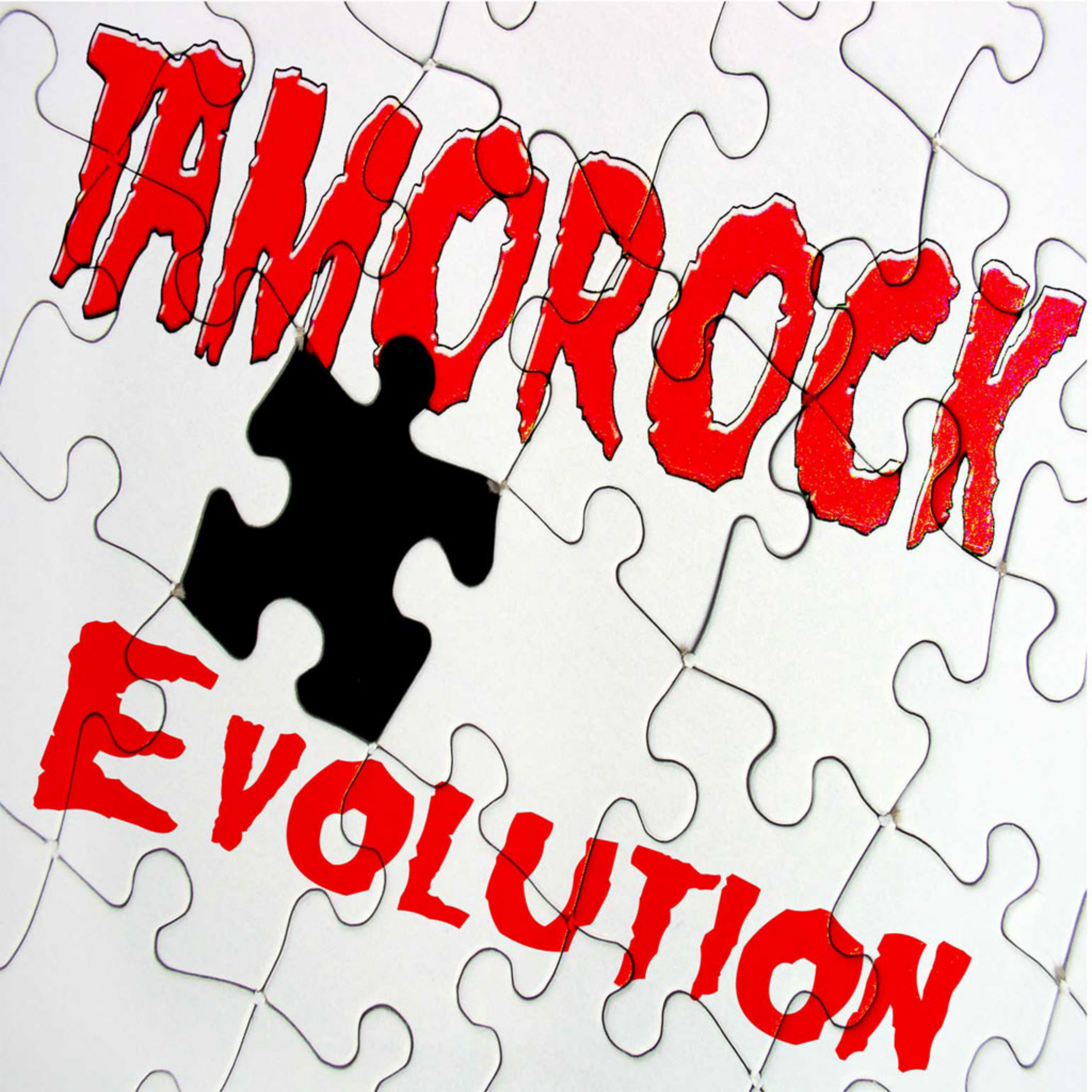




MADRID

EVOLUTION

EVOLUTION



01. EVOLVE

02. 限りある妄想 限りない欲望

03. ゆめのかげら

04. チンパンヤロウ

05. 感謝そして誓い

06. あんちゃん

07. 真夏の天使

08. 罪の代償

09. 東京BABYLON

10. 微睡

11. MEMORIES

12. EVOLUTION

溢れる欲望オレの全てで千込みたくて

Uh~とないで裸で眠る 細い腰抱き寄せる

耳元でOh~囁く何度も 心の叫び好きだ!

微睡む夢うつ暗闇 目を閉じキミと出会える夢の中

限りなくたぎる妄想 恋しくて乱れた姿を演じさせ

狂った月夜に脳裏に思い浮かべて

この熱い溢れる欲望オレの全てで千込みたくて

訪れる賢者タイム 精神を研ぎ澄ませ

新しいUh~作品求めて 飛び込めタイムライン

彼女の目を通し風景と笑顔 共に旅するFusion

いつまでも変わる事ない この想い見つめる瞳に写りこむ

男の姿に憎しみ怒り狂って汚したい

オレだけのモノにしたい気持ちぶっかけたくて

限りないオレの妄想 駆け巡り多くの笑顔に囲まれて

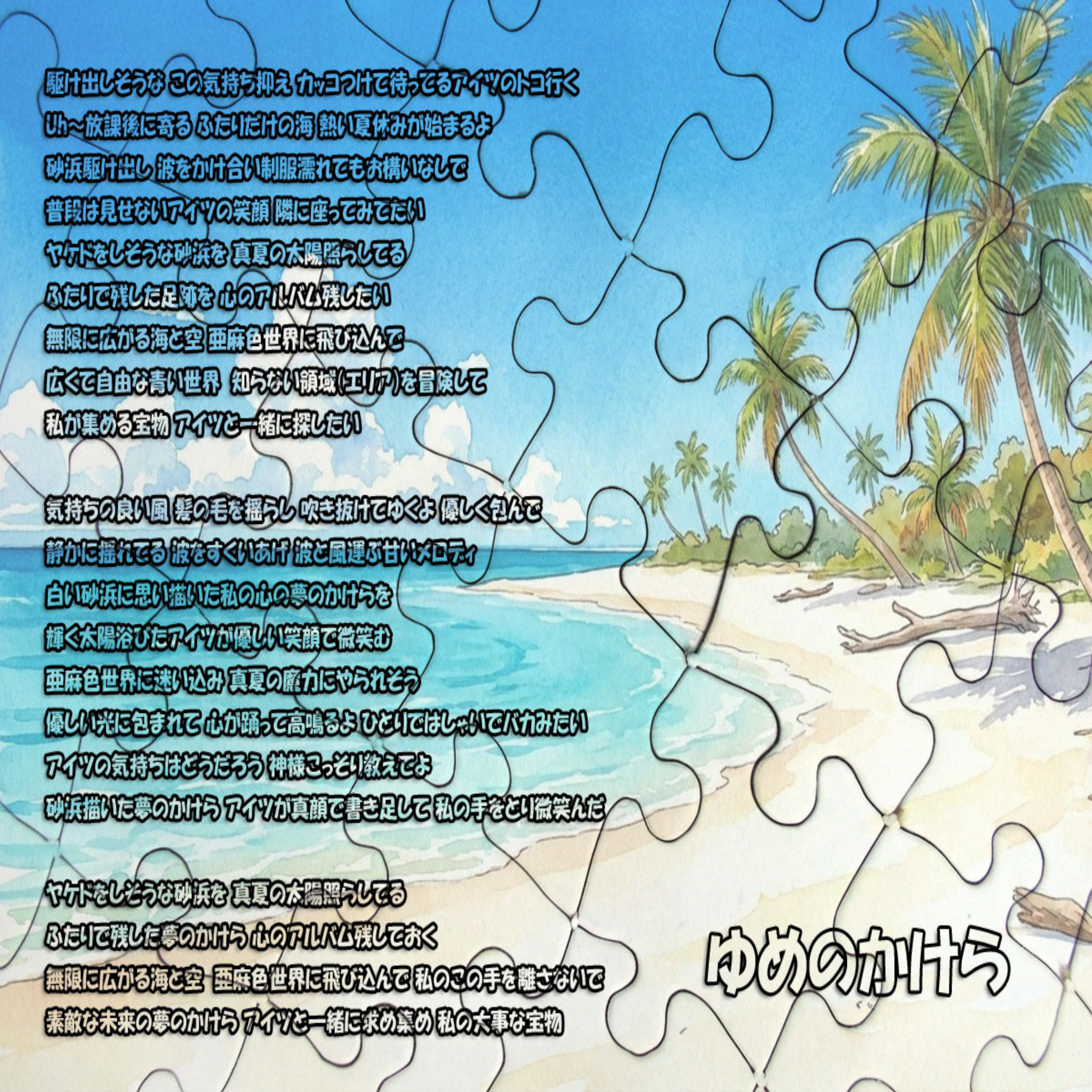
生まれた姿で飛び込め熱いDesire

溢れ出る愛してやまない熱い気持ち中出したくて

溢れる欲望オレのすべてで千込みたくて

限りある妄想 限りない欲望





駆け出しそうなこの気持ち抑えカッコつけて待ってるアイツのトコ行く
Uh～放課後に寄るふたいだけの海 熱い夏休みが始まるよ
砂浜駆け出し 波をかけ合い制服濡れてもお構いなしで
普段は見せないアイツの笑顔 隣に座ってみてたい
ヤケドをしそうな砂浜を 真夏の太陽照らしてる
ふたいで残した足跡を 心のアルバム残したい
無限に広がる海と空 亜麻色世界に飛び込んで
広くて自由な青い世界 知らない領域(エリア)を冒険して
私が集める宝物 アイツと一緒に探したい

気持ちの良い風 髪のを揺らし 吹き抜けてゆくよ 優しく包んで
静かに揺れてる 波をすくいあげ 波と風運ぶ甘いメロディ
白い砂浜に思い描いた私の心の夢のかけらを
輝く太陽浴びたアイツが優しい笑顔で微笑む
亜麻色世界に迷い込み 真夏の魔力にやられそう
優しい光に包まれて心が踊って高鳴るよひとりではしゃいでバカみたい
アイツの気持ちはどうだろう 神様こっそり教えてよ
砂浜描いた夢のかけら アイツが真顔で書き足して私の手をとって微笑んだ

ヤケドをしそうな砂浜を 真夏の太陽照らしてる
ふたいで残した夢のかけら 心のアルバム残しておく
無限に広がる海と空 亜麻色世界に飛び込んで私のこの手を離さないで
素敵な未来の夢のかけら アイツと一緒に求め集め 私の大事な宝物

ゆめのかけら

チンパンヤロウ



常日頃キレ続ける 熱い胸 Oh~高鳴らせ 今日も行くドア開いて
愛車撫で 腰を降ろす オレの中ケモ/目覚め騒ぎ出す熱い想い
自分でも止められない 間違えた正義感を!
国道走るルール破るクズを引きずり降ろして
鈍器で殴って理解(わから)せる
オレが正義!
少しでも世のために拳振るう カゴネがモ/を言うこの世界
我こそがチンパンヤロウ

行き過ぎた正義は悪と言うヤツがいるけれども
お前ならオレの代わり正義つらぬけるのかよ?
汚れ役かもしれない だけどこのク/な世間変えるため
正義という名を借りて懲らしめるぜ
愛車を降りてコーヒー飲んでひと呼吸すれば優しいオレに戻るのさ
路駐車は火炎瓶投げつけて思い知らすぜ!
心痛め 身を削り人助け 選ばれし者チンパンヤロウ

道路脇に落ちている犬のフン
手で掴んで犬の主の口入れて飲ませるぜ!
世直しだ!チンパンヤロウ

全てを失い見上げる夜空 真冬の冷たさ突き刺さり
ネオンが流れる景色のなかで 星空ひとつも見られない
逃げるように都会(まち)に来た
全ての思い出切り捨てた過去 あの日の生活戻らない
都会で孤独さ噛みしめた
そんな時出会った恋 閉ざしたドア開け放ち
終わりを告げてた日々を 新たな生活始まる
笑顔を忘れた心 キミが火を灯した

心に負ってる大きな傷を癒しを求めて彷徨った
ネットで出会いを求めてみても 傷の舐め合い虚しいだけ
オレの心叫んでる
出会いと別れを繰り返したら 大事な何かを失った
眠らぬ都会で寝床を捜し 病んでる心が暴れ出す
何をしても晴れないか 酒に溺れ誤魔化した
暗闇底まで堕ちて ひとつの光が射しこむ
小さく可愛いキミの瞳心奪われた

感謝そして出会い

ホントにキミと出会えて 昔の時間は終わった
あの時のオレは居ない 感謝そして誓う

桜舞う季節になり キミを守る誓いした
終わりを告げてた日々を 新たな生活始まる
陽射しが照らした道を キミと歩くよ

朝からダルい 身体が重くて行く気がしない 会社をサボりたい

あーマジかったるい 車でもかったるい あーハラ減り過ぎ 朝から目が回る

天下一品唐揚げとセブシイレフンホットドッグ アメリカンドッグそれとファミチキ追加

まだ昼じゃないけれど昼ご飯はとんかつだ

まだ火曜 地獄かよ！日曜待ち遠しい

車を降りてカバンが重くて会社が遠い 歩くの命がけ

あーもう疲れた 会社に着いたら あーすぐ飯食ってウトウト居眠りだ

目が覚めたら会社出てパーキングで居眠りだ

楽しみは食堂で牛串食べる

椅子倒して動画見て夕方まで睡眠だ

日が暮れてハラ減って 夜食は天ーだ！

営業の売り上げはゼロだけでも気にしない 出禁になったコンビニへ行けずに困る

自宅近場コンビニの駐車場居眠りだ

警察を呼びやがってパトカーに囲まれた

自宅近くコンビニが また出禁でムカつくぜ！

駐車場から自宅遠くて無理だ

ムカついたらハラ減って 予備食のチキン食う

腹いせにコンビニの店員に小言いう

あんちゃん

あ〜

ダルい！





からかわれてる そう思った 最初に会った時からずっと
年下のキミ気になってたよ 勇気がなくて眺めてただけ
話しかける勇気ないし どうせ彼氏いるだろうし ダサいオレが相手される訳がないし
夏の恋にいい思い出そんな記憶はないけれど
まぶた閉じると未練あるのか彼女の笑顔浮かんでくる
何をしても苦しいなら 夏の夜に砕け散るぜ
胸が高鳴り汗を垂らして覚悟を決めて話しかけた 真夏の勇気

待ち合わせした1時間前 本当に来るかドキドキしたよ
慣れてないから普段着のまま オシャレもせずに立ち尽くした
普段見ない露出高いオシャレな服着た彼女が笑顔浮かべ それはまるで夏の天使
夢を見ているような気持ちで どこへ行こうか？フアンもなくて
カッコ悪いな少しいトコ男らしさを見せたいなんて
いつの間にか手をつないで とても暑い夏の日暮れに もしかしたら…
そんな気持ちが心に届け！

駅のホーム若い2人向かい合って別れ惜しむ
電車に乗り込んだ時の彼女の表情(かお)悲しそうで
ドアが閉まって走り出した
手を握ってホームに残る うれしそうに笑うキミの肩抱き寄せた

真夏の天使

罪の代償

2年も通った裏道 いつもの路地を曲がって
細くて狭い道路をアクセル踏んで向かうよ
車を停めて眺めるフロントガラス映る
いつもと違う表情 コーヒー飲んで誤魔化した
もっと早くに別れ話ししてじゃこんなツラくなかった
だけど今も愛している 手放せないこの想い
話し合ってた決めた 勇気ある終わり いつまでも続くわけじゃない
2人最初から知ってた くすりゆび濁ってくすんでる指輪 眺めたら泣けた

会うのはこれで最後にしようと思った夏の日
出会った時も暑くて車の中で涼んだね
未練心忘れたくていっそのこと嫌われたい
最後だからだけい服とピアスをして無理をした
助手席が開き 覗き込む「ドキッ」としたくらい大人びてる口元
オレを見て笑う彼女の手握って口づけをしたい誘惑に耐えた

いつも聞く曲が終わる頃 静かに車から降りるキミの顔近付き
別れたくないと… 痛む胸押さえて 流れ出る涙
キミの表情(かお)見えない

いつか持った叶えたい夢 拳握り立ち上がる今！

ギターケース担ぎ上げて人の波に消えた

努力すれば報われる いつもそれでやってきた

アコギ外で引き語り オレの歌を聞け

いつかきっと認められる諦めない強い気持ち

仮面付けて行き交う人 心がない人形みたい

誰でも受け入れるけど助けてくれない

それが東京BABYLON

夢叶えたい...

明るすぎて空見上げても星見えない

高い位置から見下ろしたら地上の星輝いてた

いつか世間という星 高い位置で見下ろして

多くの人認められる そう信じてた

才能とは？不平等だ 誰も優しくしてくれない

がんばっても努力しても報われない苦しい

滅びの道みずから楽しんでる都市が嫌いだけど離れられな

いつか誰か気になる人好きになって夢を見れる

人は夢もなく生きるほど強くはない

優しいふいをして迎え入れてくれる

でも助けてくれない東京BABYLON

東京BABYLON



微睡

いつも通い訪れるここが運の分かれ道
少し長く居すぎたと別れ話し切り出そうか…
優し過ぎて不満ないけど多分少し何か足りない
1人だけに縛られるのは性に合わない
個性あふれる魅力的でお金持ってる人は多い
若いイケメン誰かひと絞れ切れないダメなオンナ
サイトフォローなんかよりもリアルな世界知り合いたい
私だけ見て期待させて大人の駆け引き楽しみたい

とても気分おもたくて 外の景色眺めても
心晴れることなく雨の景色ウンザリする
夏の雨はとくに憂鬱 スマホ置いて長いため息
雨のせいで決意揺らいで別れ悩んだ
雨の日曜気分下がる ここで何しているんだろう？
意識微睡む休みの午後 雨が強くて動けなくて
誰か対面席に座り ふいに目が合う
不思議だけど そこに居たのは鬼のような表情(かお)した私だった

嫌というほど自分のこと理解しているわかっている
常に多くの男からの視線と意識奪いたい
この世は見た目飾り物で埋め尽くされる嫌な世界 私も飾り輝きたい
見た目よければそれでいいの いくら心が汚れていても せめて二股だけはしない
心の雨も止むことなく涙溢れて虚しくなった

memories

私と距離を置いてくれといかないそんな事になるの？
昔の彼女勘繰られて全く覚えのないのだけと
キミと会った雪の日 傘を貸してくれたね 白いキミの笑顔が愛しすぎたよ
あの日の優しさ 決して忘れぬ 孤独を噛みしめ過ぎた日埋めたね ふたいで

思い出運ぶ列車が来た 心と記憶リンクしてる
心と心駅でつなぐ 線路に乗せて届けたいよ
キミの記憶かけらを壊さないで包むよ 駅へ向かう列車に優しく乗せる
思い出決して取り戻すでなく 大事な経験 未来の道すじ
サラサラ舞い散る雪道 相傘
ふたいの足跡 どこまでも続く どこまでも...

息は白く見上げた 白い雪がちらつく
すぐに解ける粉雪 思い出みたい

思い出決して取り戻すでなく 大事な経験 未来の道すじ
俯き彷徨い歩いた先には 傘持つ彼女が歩いて来るかな？
もう一度

遠い星の光 深い闇の奇跡 導かれて選ぶひとつの道
歩んだ道 消せない過去 振り返らず進化を遂げろ
時を超えて夢を超えて止まらずゆけ
自分の道 暗闇でも駆け抜けろよ
新たな明日 光と影 時は進むエボリューション 開け放て

何を求めてたのか？ 答え探し続け 積み重ねる想い 溢れだした
理想の先 誰もが追う答えがない理想郷(アガルタ)の星
世代を超え 求め歩く理想の先 進化の道
これから先歴史作る輝かせろ まだ見ぬ星
理想もとめ扉開きエボリューション 未来へ！

我々先人 拓いてきお道何思ってる？
我々凡人 この先何を求める？
これから人類どんな進化求める？
なにこれ？ ゴールが無い人生ボードゲーム
恐れず進めよレボリューション 試練を乗り越えレボリューション
明日もがんばれ！レボリューション 輝く未来へレボリューション

夢を超えて止まらずゆけ 自分の道
照らせ未来 先へ進めエボリューション 開け放て

Evolution

